

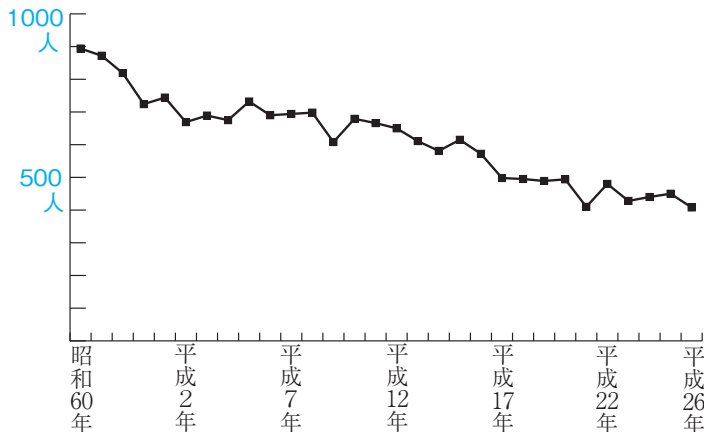
今回のテーマは 少子化

本市の年間出生数は、30年前の昭和60年は約900人でしたが、減少が続き、昨年は408人でした。また、「1人の女性が一生に産む子どもの平均数」である合計特殊出生率は、人口を維持するためには2.07が必要とされていますが、本市における直近の統計（平成20～24年）では1.32と大きく下回っています。

少子化が進行し、本市でも小学校の統廃合が進められています。人口減少は、経済活動の縮小や地域コミュニティ機能の低下など、市民生活に大きな影響を及ぼします。

妊娠・出産は、個人の考え方や価値観に関わる問題ですが、少子化の現状を克服するために、社会的課題として取り組まなければなりません。

本市の出生数の推移



【住民基本台帳に基づく十和田市の人口】から

少子化対策に有効な 施策のアイデアを募集します



少子化対策に関する取り組みを市民の皆さんから募集します。頂いた提案は、市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に活用します。

※提案は十和田市総合戦略会議などで公表することがあります（個人情報を除く）。

※提案内容の確認のため、問い合わせをする場合があります。

提出方法（いずれかの方法で）

郵便・FAX・電子メール・持参

提出先 政策財政課 FAX④9616

電子メール

seisakuzaisei@city.towada.lg.jp

提出期限 平成27年9月30日(水)

様式 自由（住所・氏名・電話番号を記入してください）

STOP ストップ 少子化

十和田市の取り組み一例

※認可保育所等の整備



平成26年度では23だった認可保育所・認定こども園・小規模保育事業の施設数が、今年度中に30施設に増加します。従来に増して、保育の質と機能を確保し、子育て環境の充実を図っています。

☎福祉課⑤6717

▲3施設が認可外から認可保育所に移行するなど充実しました

※特定不妊治療費の助成



不妊治療費の一部を助成し、子どもを産み、育てたいと思う夫婦を支援しています。

対象は、県で実施している青森県特定不妊治療費助成事業の交付決定を受けたかたで、市でもさらに助成し、高額な治療費の負担を軽減します。

☎健康増進課⑤6790

※結婚機会を提供する活動への支援

今年度は、元気な十和田市づくり市民活動支援事業を通して、婚活パーティーを実施する1団体へ支援します。また、農業委員会では独身男女の交流会を開催しています。



※各種保健事業

妊婦、乳幼児の健診をはじめ、育児不安の軽減や児童虐待の予防につながる訪問活動のほか、各種教室など、育児にかかわるさまざまな支援や啓発を行っています。

☎健康増進課⑤6792



▲中学生を対象にした思春期教室は、命のつながりを考える機会になっています。